

第66号 富士山ボランティアセンターニュース

あけましておめでとうございます。
今年も皆様にとって
良い一年でありますように



第1回影富士写真コンクール最優秀賞
古賀孝行（千葉県市川市在住）撮影場所～剣が峰の登り口
主催 富士山吉田口旅館組合

富士山北麓のエコツアーリズム

旬な情報をお届けします！

青木ヶ原樹海における保全と利用のバランス

～富士山青木ヶ原樹海等エコツアーガイドライン推進協議会～



今年度2回目の協議会が、12月21日（水）富士吉田合同庁舎において開催され、エコツアーガイドラインの守り方や見直しの必要性などについて協議を行いました。

具体的には、夜間プログラム・野生動物への餌付け（誘引）の是非、1団体あたりのガイド数に関する規定の在り方、宿泊施設等関係者へのエコツアーガイドラインへの理解・協力の必要性、倒木の取り扱い等について、様々な議論が展開されました。またエコツアーガイドラインは青木ヶ原溶岩流の上広がる約30平方キロメートルのいわゆる原生林を中心とした大室山から御庭・奥庭までの原生的なエリアを対象としています。自然の保全と利用のバランスを考慮し、既に人の手が入っているエリアと、ありのままの自然を保全すべきエリアに分けて利用の仕方を見直すことが必要であるという意見もありました。

次回の協議会では、メンバーが、現行のガイドラインについて見直しを行うべき点を提案し、かけがえのない貴重な自然を保全するため、より実効性の高いガイドラインの運用に向けた協議を行う予定です。

ふるさと忍野案内人



茅葺き屋根の民家、深く透き通る八つの小さな池、富士山を一望する二十曲峠、古き良き時代を偲ばせる心象風景が広がる忍野村。「ふるさと忍野案内人」は「村を案内してくれるガイドはありませんか？」そんなお問い合わせが頻りに受けた、忍野村役場が立ち上げた地域密着型の観光ボランティアガイドです。自然・文化・歴史・伝説などを紹介しながら、忍野八海を2時間～3時間のコースで案内します。将来的には村全体を案内することができたらと考えています。本格的なスタートは平成18年4月で一年を通して四季折々の忍野を楽しんでいただけます。修学旅行はもちろん、ご家族やお友達で忍野村を訪れた際には、是非、ご利用ください。（忍野村役場地域振興課 長田）

問い合わせ：忍野村役場地域振興課0555-84-3111

富士山レンジャーという仕事（その4） インタープリターとしてのレンジャー ～環境教育・自然解説業務～

みなさんは「インタープリター」という言葉を聞いたことがありますか？「インタープリター」とは直訳すると「通訳者」という意味になります。ここで言うインタープリターとは、動植物などあらゆる自然が発するメッセージを人に伝える人のこと、つまり自然解説者ということなのです。

「環境教育・自然解説」業務は、富士山レンジャーのインタープリターとしての業務ですが、具体的な業務内容としては次の二つがあります。



まず、第一に「環境教育」です。富士ビジターセンターにてプロジェクター等を用いながら富士山の自然や環境保全、富士山レンジャーの活動についてなど、富士山に関する環境学習会を実施しています。より多くの人に、富士山の現状を知

ってもらうために、巡回の際に回収したゴミや、写真などを資料として使っています。富士山で活動している富士山レンジャーだからこそわかる富士山の今をより多くの人に伝えることが出来ればと思います。学習会以外にも夏休みの期間には、富士山に関する自由研究の相談を随時行っています。

また、環境学習会は「出張講座」という形態でも行っています。時間や人数の関係で富士ビジターセンターに来ることが出来ない場合、その他の理由から富士ビジターセンター以外の場所で環境学習会を行うことがより適当と考えられるときには、富士山レンジャーが出向いて環境学習会を行っています。昨年11月には富士吉田市内の小学校からの依頼で、ゲストティーチャー（講師）として学校に出向き、出前授業を行いました。



第二は「自然解説」です。富士山及び周辺地域を訪れた人に対して富士山五合目周辺や富士ビジターセンターの敷地に隣接する富士山自然観察園にて、富士山の噴火やその成り立ち、森林の成り立ち、そこに暮らす動

植物についてなど、ただ富士山に登るだけでは気づくことの出来ない富士山にまつわるあれこれを伝えていきます。自然解説を行うときには、話を中心とするのではなく、コケに触ってもらったり、木の匂いを嗅いでもらったり、富士山の自然を体感してもらえようように心がけています。

富士山レンジャーが以上のような「環境教育・自然解説」を行うのには訳があります。

一つは、富士山及び周辺地域を訪れた人に自然解説等を通して「より深い富士山」を楽しんでもらうためです。もう一つは、富士山の自然や現状について学んでもらうことによって、富士山を大切にしようとする環境保全意識の高揚を図るためです。

いつの日か、私たち富士山レンジャーによる環境教育や自然解説を体験した人の中から富士山レンジャーになる人が出て来てくれることを夢見ながら、日々「環境教育・自然解説」の業務に励んでいます。

（富士山レンジャー 萱沼進）



富士山レンジャーホームページ開設！

活動報告、レンジャー制度、富士山の今の姿をお伝えします。

URL=<http://www.eps4.comlink.ne.jp/~fujisan/ranger/ranmain.htm>

